

図書館だより

平成23年3月

主な内容

- 巻頭言 …………… 1
- 平成23年度島根県立図書館各種講座 …… 2
- 平成23年度館内資料展示計画 …… 2
- 館内資料展示コーナー …………… 3
- レファレンス事例紹介 …………… 3
- おしらせ・利用案内 …………… 4

島根県立図書館報 第192号

※行事予定は、カウンターでお渡しします。

二つの施設のコーディネン (出雲弁 仲人)

松江歴史館 館長
藤岡 大拙

昭和43年の秋、島根県立図書館が松江城山の南西麓、お花畑の一角に移転新築された。それまで二の丸に建っていた木造の古びた建物とは比べものにならないほど近代的で瀟洒なものであった。その後、図書館は順調に発展し、40余年経過した現在では、外観はさすがに老朽化したが、内容的には、蔵書量、特に郷土資料の充実度は、恐らく全国的に見ても遜色ないだろう。私は幸せなことに、この図書館で13年間も勤めさせてもらった。

さて、この春、城山の東北東、堀川のほとりに、松江歴史館が誕生した。私は図らずも初代の館長を委嘱された。もともこの敷地は、松江松平藩家老乙部家と同じく家老朝日家の屋敷跡。総瓦葺き、純和風で、天守閣を東から仰ぐ、いかにも城下町の風情あふれる場所に建てられている。もちろん、この施設は博物館法に基づく博物館であるが、一般の歴史博物館が古代から近代まで取り扱うのに対し、この施設は松江藩が存在した近世の歴史に特化し、しかも、支配者の歴史ではなく、庶民の生活史を展示の中心においているのである。歴史館と名づけられた所以である。内部をちょっとのぞいてみよう。

入り口を入れば、畳敷きの広間が展開する。入館者は靴を脱いで素足で歩いてもらう。畳を通して和の文化を体験するためである。展示室は商家の番頭

の日記を基に、町民の生活を描くなど、庶民の視点を重視した展示。そのほか、伝利休の茶室、朝日家の長屋門、出雲流の日本庭園、指南所と呼ぶ講義室がある。これらは市民の皆さんの利用を待っている。もう一つ、松江市内外の児童生徒の皆さんに積極的に足を運んでもらいたい。そのため、学校との連携を図る専門の職員も配置してある。いずれにせよ、市民にも観光客にも喜ばれる施設にしたいものである。

私は城山をはさんで存在する二つの公共施設に奉職するという幸運を得た。豊富な郷土資料を蔵する県立図書館、それらを利用して松江藩の歴史、文化を研究し、その成果を展示の形で一般公開する歴史館。私はこの二つの施設を有効に結びつけるコーディネンのつもりでいる。



「松江歴史館」



平成24年10月25・26日
全国図書館大会島根大会(松江市) 開催!

平成23年度 島根県立図書館各種講座

多数ご参加
ください

講座名	出雲国風土記 を読む会	しまね文学散歩	古文書を読む会		図書館成人 読書会	子ども おたのしみ会	親子で絵本を 読む会	お父さんと いっしょに 絵本を読む会	お話の会
			入 門	中世・近世					
開催日	毎月第2金曜日	毎月第3日曜日	毎月第1土曜日	毎月第3土曜日	毎月第2火曜日	毎月第4土曜日	毎月第2、第4水曜日	毎月第3日曜日	毎月第2土曜日
時 間	13:30~ 15:00	10:00~ 12:00	10:00~ 11:30	13:30~ 15:00	13:00~ 15:00	10:00~ 11:00	11:00~ 11:30	11:00~ 11:30	13:30~ 14:30
講 師	島根県立大学 短期大学部 名誉教授 藤岡大拙氏	島根県立大学 短期大学部 名誉教授 寺本喜徳氏	島根県立大学 短期大学部 名誉教授 藤岡大拙氏	島根県立大学 短期大学部 名誉教授 藤岡大拙氏	/	県立図書館職員 ボランティア	県立図書館職員	県立図書館職員	ボランティア
募集人員	80名	50名	50名	50名	50名	フリー	フリー	フリー	フリー
対 象	一般	一般	一般	一般	一般	小学生・低学年	幼児、親子	幼児、小学生親子	幼児、小学生親子
内 容	唯一完本として残っている「出雲国風土記」を読みながら古代出雲のもつ深い歴史を理解する講座です。	島根に生まれた文人や来遊文人たちによる島根に関する作品を読み、文学から山陰の風土に接していきます。	郷土に関する近世の古文書の初級者向けテキストとして解説する講座です。	中世・近世の古文書をテキストに、解説と史料の背景をなす郷土史の研究に資する講座です。	参加者が編成したグループ毎に、同じ本を読み意見の交換をします。3人以上でお申し込み下さい。	読み聞かせ、紙芝居、手遊び、工作等を交えた催しです。本から広がる楽しさ、喜びを引き出します。	絵本の読み聞かせをおして、親子で読み聞かせの楽しさを味わいます。おはなしのへやで行います。	絵本、昔話などを読み聞かせて紹介します。読み聞かせの楽しさを味わってもらい、家庭での読み聞かせを薦めます。	ろうそくの灯がとると、ストーリーテリング(語り)によるお話の世界が始まります。毎月4~5話のお話を親子で楽しむことができます。
テキスト	「出雲国風土記」 加藤義成著 報光社発行	毎月当館で印刷したものの代金年間500円	毎月当館で印刷したものの代金年間500円		成人読書会用図書	/	/	/	/

新規に申込みをされる方は、直接、または葉書で「受講希望講座名、住所、氏名、電話番号」を下記までお知らせください。会場は県立図書館集会室です。(但し「親子で絵本を読む会」「お父さんといっしょに絵本を読む会」「お話の会」はこども室・おはなしのへやです)

〒690-0873 松江市内中原町52番地 島根県立図書館 資料情報グループ TEL 0852-22-5734

※しまね電子申請サービスでも申込みができます。

平成23年度 館内資料展示計画

* 県立図書館の資料を月ごとにテーマをきめて紹介します。

月	テ ー マ	月	テ ー マ
4	しまねのミュージアム	10	日本の遍路、巡礼
5	自然と友だち 一野あそびの本に親しむー	11	島根スサノオマジック選手 おすすめの本の展示(仮)
6	国際森林年によせてー里山と自然を考えるー	12	大正時代を知る
7	離島の魅力	1	トイレ・便所・厠
8	おすすめしたいこどものほん2011	2	森鷗外生誕150年
9	女性の時代	3	法律を学ぼう

館内資料 展示コーナー

お勧め
したい本

県立図書館では毎月テーマを決めて資料の展示を行っています。12月から2月に展示した資料の中から、皆さまに是非読んで頂きたい本を紹介します。

※展示リストはホームページからもご覧になれます。

※URL: <http://www.lib-shimane.jp>

12月テーマ ショパンー生誕200年

『ショパンの手紙』

アーサー・ヘドレイ／編 小松雄一郎／訳 白水社 1965年刊

ショパンを中心にした347通の書簡集。ショパンとの往復書簡、同時代人が彼について書いた手紙が集められており、ショパンの人間像、生涯が浮かび上がってきます。

『ショパン 花束の中に隠された大砲』

崔善愛^{ちよせんえ}／著 岩波ジュニア新書 2010年刊

祖国ポーランドを侵略された怒りとその祖国に二度と戻れない亡命者としての絶望や悲しみを描いたショパン伝です。著者は指紋押捺を拒否して再入国許可が下りないままアメリカに留学した経験をもつ在日韓国人のピアニストです。

1月テーマ 日本の城ー日本100名城を中心に

『日本100名城の歩き方』

小和田哲男ほか／著 河出書房新社 2010年刊

財団法人日本城郭協会が平成18年に発表した日本100名城をすべて紹介しています。島根からは松江城、月山富田城、津和野城の3城が選定されています。

『松江誕生物語』

山陰中央新報社 2010年刊

堀尾氏による松江城の築城、城下町の建設や松江藩の歴史などを、写真を用いてわかりやすく説明しています。番外として松江城の国宝化を願う一文が寄せられています。

2月テーマ 仏像を鑑賞しよう

『仏像の見方』

澤村忠保／著 誠文堂新光社 2009年刊

仏像が誕生してから日本に伝播し定着していくまでの歴史や、仏像の種類、見分け方と特徴、拝観の仕方など、仏像についてわかりやすく解説しています。

『原寸大日本の仏像 奈良編』

講談社『週刊日本の仏像』編集部／編 講談社 2008年刊

奈良県にある国宝や重文の仏像のパーツを原寸大の写真で紹介。また創建当時の姿を読み解くことができる復元想像図を掲載しています。同タイトルで京都編も出版されています。

レファレンス事例紹介

こんな問い合わせがありました

Q 1700年～1900年頃に島根県内で起こった早魃（日でり）の記録を調べたい。

A 島根県内の災害の記録をまとめた資料には「島根の気象百年」の巻末に『島根県災害年表』が載っています。また「松江国道のあゆみ」にも『島根県に発生した自然災害』という項目があります。その他、各市町村史誌には気象や災害の項目があります。また、早魃については「日本早魃霖雨史料」という資料が出版されています。これらの資料から、200年の間に少なくとも25回の早魃の記録が見つかりました。

●参考文献

『島根の気象百年』日本気象協会松江支部、1993年
『松江国道のあゆみ』松江国道工事事務所、2001年
『日本早魃霖雨史料（翻刻歴史史料叢書）』クレス出版、2002年 ほか

Q 島根県出身の文化勲章受章者と文化功労者を知りたい。

A 2010年11月現在の文化勲章受章者は、俵国一（金属学、1946年受章）、橋本明治（日本画、1974年）、中村元（インド哲学、1977年）、森英恵（服飾デザイン、1996年）、三ヶ月章（民事訴訟法学・裁判法学、2007年）の5名です。文化功労者は、文化勲章受章者5名に恒藤恭（法理学、1966年）、澄川喜一（彫刻、2008年）を加えた7名になります。

安来出身の陶芸家、河井寛次郎は1955年に文化勲章受章者に選ばれましたが、辞退しました。

●参考文献

『文化勲章 1992年版』教育社、1992年
『日本の賞事典』日外アソシエーツ、2005年
文部科学省ホームページ <http://www.mext.go.jp/ほか>

「日本の子どもの本の復刻資料展—明治・大正・昭和」



—島根県立図書館こどもしつ所蔵資料より—

- 期日** 4月23日(土)～5月12日(木) 子どもの読書週間中
- 場所** 島根県立図書館 特別研修室(こどもしつ隣り)
- 内容** 島根県立図書館が所蔵する、明治・大正・昭和の日本の子どもの本の復刻資料展

**入場自由
無料**

「第98回全国図書館大会島根大会」開催ニュース第1号

＝開催準備本格化！＝

平成24年10月の開催に向けて、新年度から準備委員会が始動します。
準備委員会には、県内公共図書館、学校図書館関係者等が参加して、24年度の実行委員会設立の準備を行います。関係の皆様には、御協力をお願い致します。

主催：(社)日本図書館協会 島根県 島根県教育委員会 松江市 松江市教育委員会ほか



開館日カレンダー

平成23年

3月 展示：色の世界

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		



4月 展示：しまねのミュージアム

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

5月 展示：自然と友だち

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

■黒字…9:00～18:00 ■青字…9:00～17:00
■赤字…休館日

読書普及指導員を派遣します

保護者参観や職員・ボランティアの方の研修会等で、親子読書や読み聞かせの基本的な考え方やポイントなどお話しします。
お問い合わせ 子ども担当(0852-22-5746) または西部読書普及センター(0855-23-6785)まで。

お近くの市町村図書館を通して貸出します

すべての県民の皆さんに県立図書館の資料を利用してもらうため、市町村の図書館などを通して資料の貸出を行っています。
①県立図書館に求める資料があるかどうかは、インターネットの蔵書検索(県立図書館HP)や、電話での問合せ(0852-22-5748)またはお近くの市町村図書館までおたずねください。
②借りたい資料が決まりましたら、お近くの市町村図書館(図書館未設置の5町村は中央公民館等)へお申込みください。週1回市町村図書館等へ発送します。

郷土資料収集のお願い

島根に関する資料(古いものも、新しいものも)を収集・保存しています。ご寄贈、情報のご提供をお願いします。

利用案内

- 開館日時間 火曜日～金曜日 3月～10月 9時～19時
11月～2月 9時～18時
土曜日・日曜日・祝日 通 年 9時～17時
- 休館日 毎週月曜日(祝日にあたるときは開館)・第1木曜日
年末年始 12月28日～1月4日・特別整理休館

※詳しくは開館日カレンダーをご覧ください。

ホームページアドレス <http://www.lib-shimane.jp>
編集発行 島根県立図書館 〒690-0873 松江市内中原町52
TEL 0852-22-5733 FAX 0852-22-5728

発行日 平成23年3月10日